

## 私のすすめるこの1冊

岡田 直樹（美術科 教授）

### 『一条攝政集』（複製本）

藤原伊尹（和歌） 西行（筆）

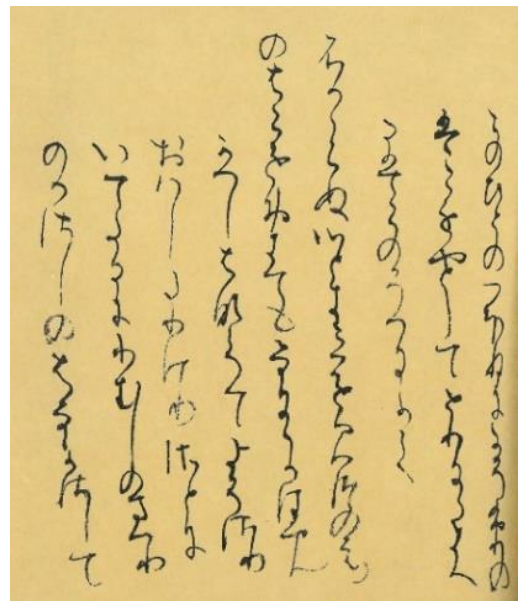
一条攝政集は藤原伊尹<sup>これただ</sup>個人の和歌を収録した家集である。藤原伊尹は、右大臣九条師輔<sup>もろすけ</sup>の長男で、父師輔が死去したときは参議であったが、その後昇進を重ね円融期には摂政となったとある。またその屋敷が一条にあったことからこの古筆名となったのであろう。伊尹の家集としては、この一条攝政集の写本以外に伝本がない。しかし後撰和歌集以降の勅撰集に、伊尹の歌が四十首近く入集していることから、当時からかなりの歌人として認められていたことが推測できる。

この一条攝政集は、縦 13.0 センチ、横 12.3 センチの楕形の小冊子である。装丁は、一見大和綴<sup>やまととじ</sup>のように見えるが、一条攝政集独自の綴じ方である。また一条攝政集の随所に見られる重ね書きによる訂正や集付け、さらに巻末の伊尹の略記等は、藤原定家の筆跡である。近年、京都冷泉家伝来の和歌関連の多くの資料が公開された。それらの資料の研究が進み、冷泉家は平安時代、御子左家と呼ばれ当主の藤原俊成と息子の定家は書写スタッフをかかえて、写本制作に勤しんでいたことが明らかになってきた。恐らく一条攝政集も俊成・定家の御子左家工房で書写された写本の一つで、それが何らかの理由で流出し、所蔵者を転々と変えながら、今日に至っているのであろう。

その書風は甚だ自由奔放で、まるでふっと思いつ

いたときに、矢立てから筆を取り出して、懐紙にさらさらと歌を書いたかのように感じられる。かなりのスピードで書き流して、すこぶる流動的である。文字の歪みや行の傾きに激しいものがあるが、その中でも適度の抑制が利いていて品位を保っているところが、この古筆の真骨頂であろう。

私自身、書と本格的に取り組んだ頃は、自己の書の基盤として、平安期の関戸本古今集を研究してきたが、一条攝政集に接し、関戸本古今集にはない自由奔放さに、新しい世界を見た感動を覚え、生涯の研究対象とするに至った思い入れの強い古筆でもある。



## 報告

### 第4回教育展「先生を目指した女性たち—京都府女子師範学校の歩み—」

2022年11月11日から2023年1月10日にかけて附属図書館1階企画展示室にて、第4回教育展として「先生を目指した女性たち—京都府女子師範学校の歩み—」が教育資料館(まなびの森ミュージアム)の主催、附属図書館の共催で開催されました。

京都府女子師範学校は、1886年(明治19)に京都府師範学校に設置された同校女子部にはじまり、その後、女性教員の養成を求める声が高まるなか、1908年(明治41)に開校されました。同校の沿革は『京都教育大学百二十年史』で知られる通りですが、同書で挙げられた以外にも、教育資料館及び附属図書館には、当時の学校・生徒の記録や写真、昭和初期に実践された「郷土教育」関係の諸資料が多数所蔵されています。さらに2016年(平成28)には京都府女子師範学校の卒業生であり、戦中・戦後に京都市内で小学校教員を務めた西村美代子さんの写真・日記・手紙等がご遺族によって寄贈され、それらを活用することで女子師範学校の歴史に新たな光をあてられると考えました。またその過程で、京都府立京都学・歴彩館所蔵の行政文書等の調査も行い、大正天皇が皇太子時代に女子師範学校を訪問した際の記録等の未紹介資料に出会い、それらも今回、展示できることになりました。改めて貴重な資料を寄贈・提供して下さった方々、またこれらを大切に保管・管理して下さった方々のご厚意とご尽力に対し、感謝と敬意を表明する次第です。

また、12月10日には、講演会「先生を目指した女性たち」を附属図書館北館2階研修・セミナー室1にて実施し、國學院大学の多和田真理子先生による基調講演「近代信州の女性教員たち」と中村翼(教育資料館次長)の関連報告「京都府女子師範学校の歩み」がなされました(参加者30名)。両者が扱った地域は異なるものの、戦前の女性教員養成をめぐる諸課題の共通点が浮き彫りになるとともに、教員を目指し、教員になった女性たちの生の声を通じ、その葛藤や苦勞の一端が明らかになったように思います。

今年は、感染症対策を施した上で一般利用者の方にも開放したこともあり、学生・教職員・卒業生・一般市民など、約1,000名の見学者がありました。また、より広い情報発信のため、パンフレット図録は教育資料館のウェブサイトに掲載しており、展示の様子については後日にYouTubeで公開する見込みです。あわせてご活用下さい。



<講演会の様子>

#### 企画展示室(北館1階)

告知

第13回京都教育大学附属学校園こども美術作品展

【会期】2月1日(水)~2月8日(水)

こども達の表現をぜひご覧ください。

報告

美術領域専攻1回生展: Various

1月12日(木)から1月25日(水)

まで開催されました。



YouTubeも  
ぜひ、  
ご覧ください



#### 学修相談カウンター

院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

今年度は2月7日(火)が最終です。

詳しくはHP等でご確認ください→



京都教育大学  
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第35回の報告

YouTubeで公開されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=dDIMtHO63xw> (YouTube公開のみとなります。)

【講師】岡田 雄樹(体育学科 講師)

【テーマ】学校に体育の授業は必要か？

<概要>今回は「学校に体育の授業は必要か？」という難しい問いをテーマに設定しました。このような問いは改めて問われないと考えないものです。また常にそこにあるのが当たり前であった体育もいつの日か消える日が来るかもしれません。消え失せる日はこのような問いについて考えることを放棄した時でしょう。

体育授業は「笑顔」がみられたり「笑い声」が響いたりするため一見楽しそうに見えます。ただそれはごく限られた人たちの「笑顔」や「笑い声」であったりします。体育で嫌な思いをしてきた人たちは「学校に体育の授業は必要か？」と常に思っていたはずで本講座で答えが出たりはしませんが、教科の本筋を再度考えていただけたら幸いです。

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください！

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会  
後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

【投票期間】2月1日(水)～3月15日(水)

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入していません。

ブックハンティング購入図書展示コーナー

「図書館に置いてほしい」と思う本を、学生自身が選び、一定の条件内で購入する企画ブックハンティング2022(後期)を実施し、選んだ学生さんによるPOP(本の紹介)と一緒に展示しています！どんどん、ご利用ください！

【場所】1階渡り廊下

【期間】2月1日～

貸出できます

春季休業に伴う長期貸出について

学部生：1月30日(月)～4月4日(火)

院生・教職員：1月16日(月)～3月20日(火)

【返却期限日】4月19日(水)

日曜開館

試験期間前の日曜日(2月5日)を9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひご利用ください！

児童書コーナー(南館1階)



今月の絵本カード(学生作)  
『ゆきのひのホネホネさん』  
作・絵：にしむら あつこ  
出版社：福音館書店



※児童書コーナーに  
かわいいカードが  
飾られていますので、  
ぜひ見に来てくだ  
さい。

好評開催中！

第10回 京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー  
2023年3月25日(土)まで  
※本学は連携参加大学です。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【2月の開館日時】

6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)、14:00～17:00

今月の逸品(2・3月)  
『SZK 水素イオン(PH)比色計』  
展示場所：附属図書館



教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

京都教育大学紀要(大学発行の学術雑誌)に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 染谷 藤重 (英文学科 講師)

### 英語教師の自律性支援がエンゲージメントに及ぼす影響 — 中学校英語授業における心理的欲求を媒介として —

染谷藤重

京都教育大学紀要 2022, No. 141, pp. 81-91  
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/9765>

現在、教育現場では、生徒の授業へのエンゲージメントが非常に重要な視点であると捉えられてきている。そこで、本研究では中学校1・2・3年生を対象として調査研究を行い、英語教師の自律性支援指導が生徒のエンゲージメントに及ぼす影響を検討した。

まず、自律性支援とは、教師が生徒に対して行う指導・支援のことを指し、生徒の自律性・有能性・関係性の欲求を充足させると言われている。そして、3欲求が充足することで授業へのエンゲージメントが向上するとされている。

「上記の理論的枠組みが、日本の中学校英語の文脈でも言えるのだろうか?」という疑問を解消すべく、調査及び分析を進めたものが本論文である。

相関分析や共分散構造分析といった多変量解析を用いることによって、以下のことが明らかになった。

- ①教師の自律性支援が生徒の3欲求に正の影響を及ぼすこと
- ②生徒の3欲求の充足が生徒の授業へのエンゲージメントに正の影響を及ぼすこと
- ③教師の自律性支援が生徒の授業へのエンゲージメントに正の影響を及ぼすこと

上記より、教師の自律性支援は、生徒の英語授業への3欲求を充足させて、授業へのエンゲージメントへと導くと考えられる。つまり、教師が自律性支援指導を意識し、生徒に英語の授業を行っていくことにより、エンゲージメントの向上及びその後の英語力、コミュニケーション能力の向上に寄与する可能性がある。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 141号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

2/4 大学院入試(学外者利用不可)

2/6-2/10 後期末試験

2/25-2/26 学部前期入試

2023年3月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

3/1 館内整理日

3/12 学部後期入試

3/24 卒業式

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

(QRコード→)



京教図書館 News No.269 (2023年2月号)

発行日: 2023年2月1日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

問い合わせ先: [library@kyokyo-u.ac.jp](mailto:library@kyokyo-u.ac.jp)



国立大学法人  
京都教育大学  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION